

## 日本看護図書館協会 2014 年度第 8 回新人研修会報告

教育・研究担当理事

北里大学看護学部図書館 福田文子

第 8 回新人研修会は、2014 年 10 月 18 日（土）甲府看護専門学校図書館を会場に秋晴れの中開催された。参加者数 65 名（内訳：会員 40 名、非会員 25 名）であった。

新人研修会では、看護専門分野についての講義、図書館司書の役割、蔵書構築、レファレンス、ILL、利用者教育について学んだ。

講義 1「看護学概論：看護学事始め」若尾ふさ氏より、看護教育の基礎を分かりやすくお話しいただいた。会場校の看護師養成機関時代の歴史を知ることで、新しい時代の看護を学ぶ事ができた。講義 2「図書館司書の役割」今田敬子氏より、日本看護図書館協会の活動の歴史を伺った。今後も、会員が理解し、踏まえておかなければならない重要な講義であった。講義 3「蔵書構築」小林晴子氏より、新人図書館員にとって収集すべき図書とはどのようなものなのか、そして分類し配架をすることが、どのような意味を持つものなのかを講義をしていただいた。講義 4「レファレンス」佐藤晋巨氏より、事前課題を基にレファレンスのグループワークを行った。参加者は、緊張しながらも自分が経験したレファレンス事例を述べ、グループ発表を行った。様々な事例を聞く事で、レファレンス業務の振り返りができていたのではないかと。講義 5「ILL」小松久美氏より、ILL の概要から ILL 業務の実際までを話され、業務全体の流れを理解することができた。講義 6「利用者教育」白川智子氏より、利用者教育とは、教育機関としての指導であるという説明があり、公共図書館との違いが理解できた。また、指導のポイントを話していただいた。

新人研修会アンケート集計結果によると、回答者 56 名（回収率：86.2%）「大変有意義だった」47 名、「有意義だった」8 名、総評価として、全体の企画（講師・講義内容）がとても良いとのご意見を多くいただき、好評だった。「知人ができた」「仕事の悩みを話すことができた」「他館の事情が把握できた」等々、参加者同士、横の繋がりができたようだった。

会場校の甲府看護専門学校の方々には、事前準備から新人研修会当日まで、並々ならぬご尽力を賜り、心より感謝いたします。新人研修会が無事に終了できたのも、ひとえにご支援・ご協力あつてのことと思っております。また、各担当理事・監事の皆様には、開催にあたり、ご援助くださり、ありがとうございました。

ご参加くださった皆様にお礼を申し上げます。

プログラム

10 月 18 日（土）

09:30-10:00 <受付>

10:00-10:10 <開会>

開会挨拶：教育・研究担当理事 福田文子

会場校挨拶：甲府看護看護専門学校 事務長 中村紘昭氏

10:10-11:10 <講義1>「看護学概論：看護学事始め」

甲府看護専門学校 図書館長 若尾ふさ氏

11:10-11:20 <休憩>

11:20-12:10 <講義2>「図書館司書の役割」

国際医療福祉大学 特任教授 今田敬子氏

12:10-13:30 <昼食・図書室見学>

13:30-14:10 <講義3>「蔵書構築」

愛知医科大学医学情報センター 小林晴子氏

14:10-14:20 <休憩>

14:20-15:30 <講義4>「レファレンス」

聖路加国際大学学術情報センター図書館 佐藤晋巨氏

15:30-15:40 <休憩>

15:40-16:10 <講義5>「ILL」

日本赤十字看護大学図書館 小松久美氏

16:10-16:20 <休憩>

16:20-16:50 <講義6>「利用者教育」

順天堂大学浦安キャンパス図書館 白川智子氏